

「リゾート地の開放感あふれる競馬場」をコンセプトとして、2010年に改築された函館競馬場の新スタンドが、2階吹抜けをはじめとする照明器具の更新工事を実施。設計コンセプトを活かしたうえで空間に調和する、多彩なLED照明器具を採用しています。

函館競馬場の開場は1896年。現存する日本の競馬場の中で唯一、19世紀から続く日本最古の競馬場です。2010年に現在のスタンドの改築工事が竣工。騎手や競走馬を間近で応援できる「はなみち」や、馬の脚元を観察できる「ダッグアウトパドック」など、特徴的な設備を備え、馬と人との距離が近い競馬場として多くの競馬ファンを魅了しています。



【物件概要】
所在地：北海道函館市駒場町12-2
延床面積：25,642㎡
構造・規模：鉄骨造、地上5階建
施主：日本中央競馬会
設計：函館設備設計家協同組合
施工：電気/園シマデン産業
竣工：2025年3月



雲の広場 右手壁面中段に上向きに配置したLED投光器①が幕天井を照射し、壁面上部に下向きに配置したLED投光器②③が床面を照射

LED投光器により白い雲のイメージを際立たせ「リゾート地の開放感あふれる競馬場」を演出。

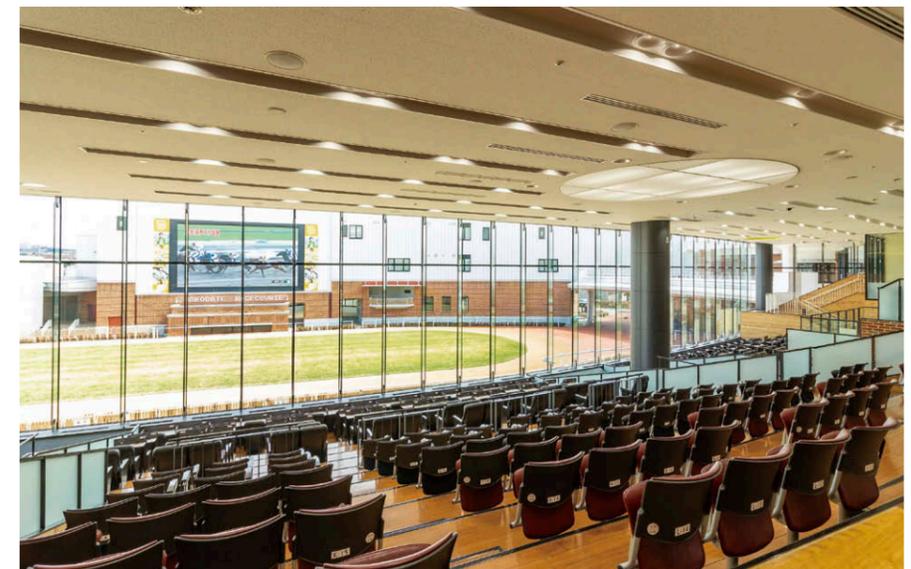
函館競馬場スタンドの2階は、白い曲線を描く幕天井が北海道の大空をイメージさせる吹抜け「雲の広場」を中心に、パドックシート、キッズエリア、フードコートなどさまざまなエリアを備えています。「雲の広場」の照明は、壁面上部の照明が床面を照射し、壁面中段の照明が対面の幕天井を照射する照明設計となっており、それぞれ、既設のセラミックメタルハライドランプ器具から5000KのLED投光器へ更新。白い雲のイメージがより際立つ、明るく開放的な光空間を創出しています。また、照明器具の選定と配光の設計にあたっては、簡易CGを用いてLED投光器の場

合とLEDベースライトの場合を比較検討。空間全体の光環境をシミュレーションしたうえでLED投光器を採用しています。

約600インチの大画面「パドックビジョン」で競馬観戦を楽しめるパドックシートエリアは、天井のスリットラインの内部に配置されていた既設Hf蛍光ランプ器具のダウンライトをLED一体形ダウンライトに更新。また、屋外スタンドの軒下照明にはLEDユニット交換形ダウンライト防湿・防雨形を採用。さまざまなエリアでLED化を実施し、明るく開放的な空間の創出と、消費電力の削減、メンテナンスコストの削減を両立しています。



簡易CG(右)によるシミュレーション LED投光器①②③の配光イメージを簡易CGにより確認



パドックシートエリア LED一体形ダウンライト④を既設器具位置に置き換え



②③LED投光器



屋外スタンド LEDユニット交換形ダウンライト⑤防湿・防雨形を採用

主な掲載器具一覧	設置場所	器具名 (品名)	形名	台数	備考
雲の広場	① LED投光器 重耐塩形 広角タイプ	200W形メタルハライドランプ器具相当	LEDS-10910NW-LS9	32	消費電力：66.0W
	② LED投光器 重耐塩形 中角タイプ	250W形メタルハライドランプ器具相当	BVP431_130CWMS	24	消費電力：103.0W
	③ LED投光器 重耐塩形 広角タイプ	250W形メタルハライドランプ器具相当	BVP431_130CWWS	38	消費電力：101.0W
パドックシート	④ LED一体形ダウンライト 一般形 銀色反射板 広角タイプ		LEKD35081N2V-LD9	354	消費電力：28.2W
屋外スタンド	⑤ LEDユニット交換形ダウンライト 防湿・防雨形 広角タイプ	φ200	LEKD2538027N-LS9	109	消費電力：17.1W